

様式 2

平成 31 年度「学びの組織活性化」推進プロジェクト 訪問記録シート

支援チームの訪問回数 (3) 回目

学校名	(出水市) 立 (米ノ津中) 学校	実践校	モデル校
校長名	関戸 達哉	参加者	27人
学力向上担当者名	市村 恵美子		
日時	令和 (元) 年 (11) 月 (25) 日 (月) (14 : 00) ~ (16 : 45)		
支援チームメンバー	県総合教育センター 石川 雅仁 研究主事 北薩教育事務所 岩下 邦宏 指導主事 出水市教育委員会 川野 浩明 指導主事		
研修に向けた事前の準備等における成果や課題は何ですか。			
(成果) ・ プロジェクト 2 回目を受けて,事前の指導案検討では,「情報を読み取る力」「考えを表現する力」の 2 つの視点を解決する共通項として,理由「なぜなら」を追究して授業を組み立てることができた。また,授業参観では職員一人につき,2 名の生徒の思考の変化を追っていく方法で取り組むこととした。 (課題) ・ プロジェクト 2 回目と 3 回目の期間があまりなく,改善のための取り組みがあまりできなかった。			
研修の成果や課題は何ですか。(参加者の評価や変容等)			
(成果) ・ 3 回のプロジェクトを通して,「情報を読み取る力」「考えを表現する力」を本校の生徒に獲得させるために,4 つの T に加えて,教科を横断して以下の 3 点に取り組むようになった。 ① 本校の実践する 4 つの T を単元指導計画や指導案に位置づけること。 ② 生徒自身が対話をする必然性や対話をしたと感じるような課題設定,発問の工夫を全体で共有すること。 ③ 根拠を元に意見交換させる手法,全員の考えが反映される手法など,対話をする際の授業者側の留意点をまとめ,実践に活かす研修を進めること。 (課題) ・ 生徒が「学びたい」「伝え合いたい」というような,「~たい」と思う授業づくりを教科等横断的な視点で全員で取り組むこと。			
今回の研修をこれからどのように生かすことができますか。			
・ 学力向上委員会で,今年度の各教科の 4 つの T の共通実践事項のまとめや,プロジェクト内で出た課題の解決を進めていく。 ・ 今回の研修で出た成果や課題を,全職員で再度共有する。そして,次年度の研修の計画に反映させる。			
次回の訪問までに確認したいことや,これから取り組みたいことは何ですか。			
・ 次年度に向けて,今年度取り組んだ「学びの組織活性化」プロジェクトでのまとめを活かした実践を進める。			